

【報告事項】

2017年（平成29年）事業報告

2017年（平成29年）事業報告書

（平成29年1月1日～平成29年12月31日）

SL災害ボランティアネットワーク（以下、本法人という）は、大規模地震等の大災害に備えて「わが身わが命は自分で守る」ことを基本精神に、地域・職場・大学等に根ざした自主的な防災活動、被災地支援活動を行い、災害の被害を軽減することを目的に活動しており、2017年（平成29年）は次の事業を行った。

1. 地域・職場・学校等での自主的な防災活動事業

① 自主活動～地域ネット活動

各地域ネットでは地域の事情に応じて定例会（月1回・隔月）を開催し、会員の防災知識と技能維持向上を図るため、勉強会・技能訓練を行った。また千葉県では、地域ネット代表者からなる千葉県地区運営委員会を隔月で開催し、各地域の情報交換と年間活動計画等を策定しそれを実行した。

またSL会員は所属する地域ネットにて学校や社協、他団体とともに防災・減災の啓発普及活動を次の通り実施した。

- ・ NPO法人神奈川災害ボランティアネットワーク（KSVN）と共催でかながわ・よこはま防災ギャザリング事業を実施
- ・ 小中高等学校での防災マップ作りや、地域のイベント等で防災・減災の展示啓発活動の実施

② 防災訓練への参加と訓練備品の頒布

九都県市合同防災訓練、並びに各自治体の総合防災訓練へ参加し、日頃の訓練の成果を発揮した。また、地域等の防災訓練で使用するため非常用炊出袋の頒布を行った。

③ 受託事業の実施

地域、社協、行政から委託を受け、企画・運営した主な事業は次の通り。

大和市社協災害VC運営^{※1}スタッフ養成講座・船橋市地域防災リーダー研修・千葉県生涯学習大学校での防災講義4単位などを実施。また神奈川県教育委員会受託事業として神奈川県立高校23校でDIG^{※2}、また小中高特別支援学校の教員を対象にしたDIGを実施した。

※1.災害VCは災害ボランティアセンターの略。

※2. Disaster（災害）、Imagination（想像力）、Game（ゲーム）の頭文字をとった災害図上訓練のこと。

2. 災害時における被災地支援事業

本法人が被災地の行政または社協からの情報を収集・把握し、被災地への支援活動を検討した上で、SL会員に呼びかけた被災地支援事業は次の通り。

【平成28年熊本地震への支援活動】

- ・ 熊本応援缶バッチ義援金活動を3月末まで実施し、23,225円全額義援金として熊本県に送金した。
- ・ 2/9～2/14に阿蘇町・益城町へざま災害ボランティアネットワークと協力して支援活動を行った。

3. 会員の知識と技能向上のための教育訓練事業

① 自主企画のセミナーの開催

部会を発展的に再構築し、会員による自主的なセミナー、防災談話室を次の通り実施した。

- ・ SL企画セミナー第1弾「発災後72時間乗り切る！～安心した避難生活を送るための『要

配慮者トリアージ』とは」・・・6/27・7/4・7/18・9/7の全4回。参加者は32名。

- SL企画セミナー第2弾「初心者のためのDIG演習」・・・12/4・12/11・12/18・1/15の全4回。参加者は19名。
- SL防災談話室@mansion・・・7/12・9/13・11/8（奇数月の第2水曜定例開催）

② リーダー及びインストラクターを育成する事業

神奈川県教育委員会からの受託事業であるDIG事業への講師派遣では、インストラクター・ファシリテーターとなるSLを事前に集め、統一した指導内容となるよう内部研修を行った。また、社団として統一した教材を作成した。

③ 見学会、講演会、交流会、野外訓練等の実施

地域を超えた会員の相互交流・親睦を図るため、県域での交流会・野営訓練等を行った。

- 6月24日には第2回SL全体合同訓練を東京臨海広域防災公園で開催し、各県ネットが分担して実技訓練を実施した。参加者は48名。
- 千葉県では県ネットワーク10周年記念行事を5月に行い、秋季研修（11月）では、「海匠・九十九里震災の歴史を訪ねる」をテーマにバス視察研修を行った。
- 神奈川県では10月に柳島キャンプ場での野外訓練を計画したが悪天候で中止となった。
- 埼玉県では隔月で定例会議を開き、8月に避難生活実践キャンプを行ったほか、県内ボランティア団体の連携を図るための「埼玉県彩の国会議」に参加するなど、ネット結成後1年目の活動として基盤を固めた。

4. 災害救援ボランティアリーダーを育成する事業等への協力

災害救援ボランティア推進委員会が主催する「災害救援ボランティア講座」等への講座運営を支援し、社団活動の説明を行い、新規会員の確保を行った。【正会員数=759人/12月末現在】

5. 法人管理運営

① 理事会の開催および運営等

理事会を7回開催し、本法人の基盤となる各種規則・規約等の作成等を行った。

② 運営委員会の開催および運営等

東京・神奈川・千葉・埼玉から選出された委員で構成する運営委員会を、毎月1回開催し、横断的な情報交換、SL活動の企画・運営を話し合った。

③ 広報啓発事業

災害救援ボランティア推進委員会が年6回発行している会員向け広報紙「SL NewsLetter」の編集・発送に協力した。またホームページ並びにフェイスブックを運用し、広報周知を図った。

④ 各地域ネットワークの組織整備と充実

各県ネットワークともにそれぞれの特色を生かした活動を行った。

⑤ 関係団体との連携事業

千葉県では、千葉県SLネットが千葉県災害ボランティアセンター連絡会（事務局：千葉県社会福祉協議会、日赤千葉県支部）に加盟し、九都県市合同防災訓練や災害VC運営者研修等に参加、協力した。千葉県災害VC運営マニュアル検討作業部会にも出席し、マニュアル策定に協力した。また、シェイクアウト提国会議と協力して、自治体でのシェイクアウト訓練の普及活動を行った。

以上

義 援 金 受 領 書

公益社団法人 SL 災害ボランティアネットワーク 様

時下ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

この度は、平成28年熊本地震に際し、義援金をお寄せいただき心よりお礼申し上げます。

いただきました義援金は、生活再建に役立てさせていただくため、被災者の方々にしっかりとお届けします。

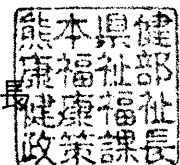
受領金額	金23,225円也
受領年月日	平成29年12月5日

ただし「平成28年熊本地震義援金」として、上記の金額を受領いたしました。

平成29年12月18日

熊本県熊本市中央区水前寺6丁目18番1号

熊本県健康福祉部健康福祉政策課長



No.4115